



行政報告

市議会 6月定例会が6月5日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

全庁を挙げて取り組んでいきます 経済雇用対策

本地域では、依然として事業の譲渡や廃業による失業者が増加しています。ハローワーク大館管内の有効求人倍率も、1月以降0.3を下回る水準で推移しています。

そのような中、4月の株式会社イトウ及び株式会社イトウビルドによる民事再生法の適用申請は、地域経済にとって大きな衝撃となりました。このため、市では、大館市経済雇用対策本部の中に「株式会社イトウ対策班」を設置し、離職者と関連企業に関する緊急対策を進めています。離職者対策として、各種社会保

険の手続きや再就職のあっせんを行うとともに、市の予算執行にあたっては、できるだけ雇用創出に結びつくよう取り組んでいます。

また、関連企業対策として、連鎖倒産防止のため、私自身が市内各金融機関に出向き、万全の支援・協力を強く要請したほか、市で実施する事業の早期発注の実施と来年度以降実施予定の事業の前倒しについても検討しています。雇用の拡大と地域経済の活性化については、今後市の重点課題として、全庁を挙げて取り組んでいきます。

第50回を迎えました 山田記念ロードレース大会

去る4月29日に開催した第50回 山田記念ロードレース大会は、

好天のもと佐賀県を始め全国各地から大会史上最高の1,393人がエントリーし、22種目による熱走が展開されました。



昨年11月に生涯30万km走破を成し遂げた本市名誉市民の山田敬蔵選手も10kmの部に参加し、50年前に世界記録を樹立した黄金の足で健在ぶりを披露しました。また、2000年シドニーオリンピックのマラソンで4位に入賞したエスタ・ワンジロ・マイナ選手(ケニ

天候に恵まれ順調

今年には雪消えが早く、しかも天候に恵まれたため、農作業は早め早めに進みました。農作物も天候にあわせ順調に生育したことから、JAあきた北や指導センターなどと協力し、適期の移植や定植作業を行うよう指導してきました。

水稲は、4月上旬からの好天で、移植作業は平年より3日早い5月20日には終期となりました。一部の苗に葉先枯れや伸びすぎが見ら

ア出身)も招待選手として10kmを快走し、世界の走りや沿道の観衆から大きな声援を受けました。



今大会から、ハーフマラソンコースの公認を得て開催したこともあり、50回の記念大会にふさわしく大盛況のうちに終えることができました。

また、6月2日には今大会の50周年を記念し、式典と祝賀会が開催され、関係者とともに今大会の継続と今後の更なる発展を願い、50年の節目を祝いました。

農作物の生育

れ、移植後の気温が低く心配していましたが、本田での活着はおおむね順調です。

野菜は、ネギ、トマト、アスパラガス、山のいもなどの定植作業は順次行われており、アスパラガ

